

2020(令和2)年交通事故詳細①

2020年の交通事故詳細が発表されました。
図1は「類型別の事故件数の比較」です。

車両相互の事故がトップになっています。

それぞれ類型別の詳細内訳をグラフ化しました。

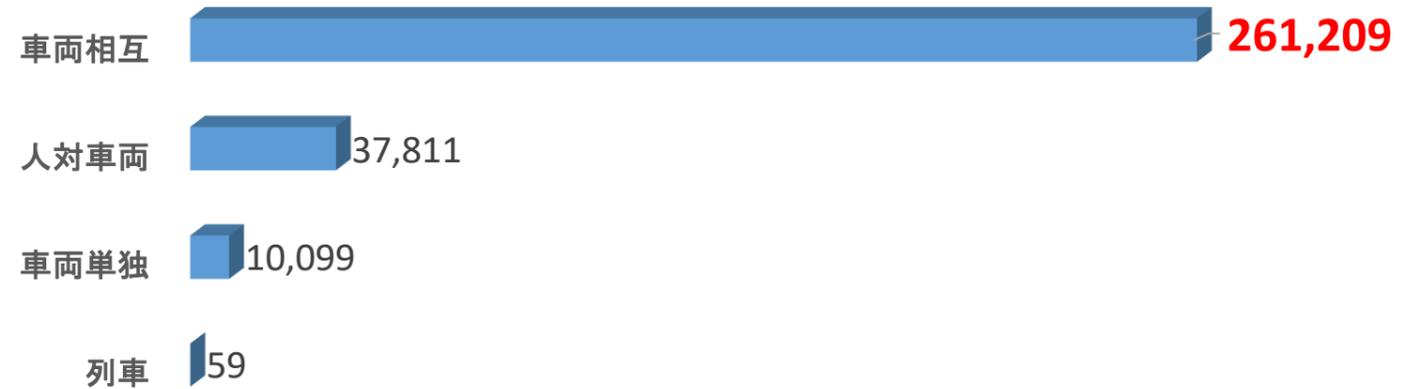


図1・類型別事故件数比較
(全309,178件中)

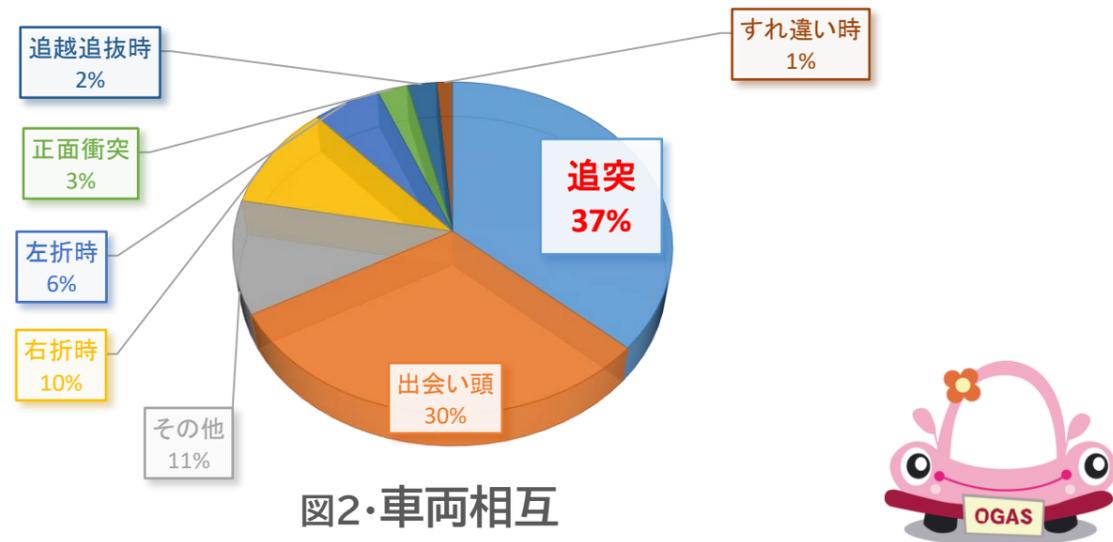


図2・車両相互



事故類型で一番多いのが「車両相互」。
その中でもトップになったのが「追突」事故で、37%を占めました。

追突事故は前方不注意等の確認不足や車間距離の不保持、速度の出し過ぎ等色々な要因があります。
しっかりと運転に集中することはもちろん、車間距離や速度にも余裕を持つようにしましょう！
また追突される可能性もあります。後続車の有無や動向にも意識を常に傾けましょう！

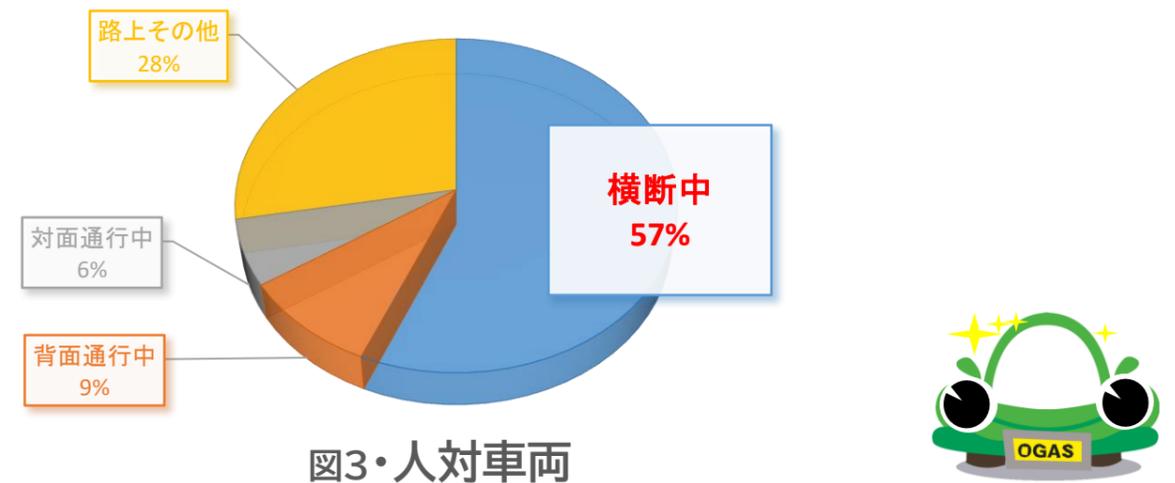


図3・人対車両



図3は「人対車両」で、歩行者の「横断中」が57%と半数以上を占めています。
歩行者は必ずしも横断歩道だけを渡るとは限りません。
横断歩道周辺や多車線道路でも歩行者に対する配慮を忘れず、大きな視野を持って走行しましょう。

交通事故死者の半数以上が高齢者(2839人中1596人)であり、歩行困難な方も多くいらっしゃることも想定しましょう！

※数値は警察庁HPから引用